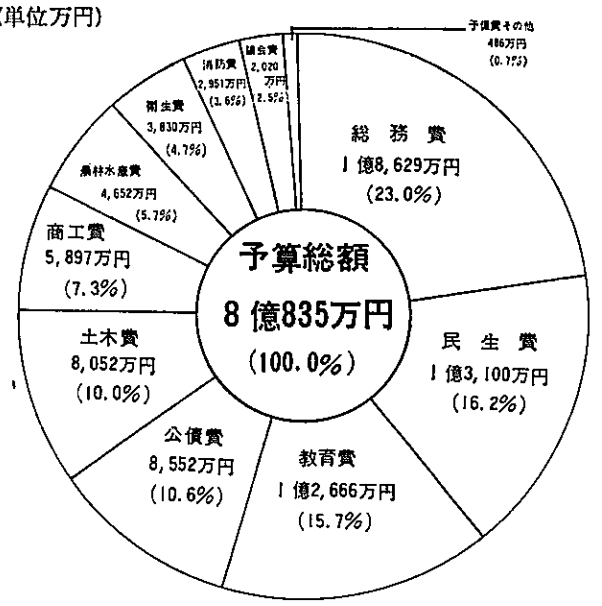
# 新年度予算のゆくえ

新しい市庁舎やプールなどの建設を盛り込んで編成された、昭和44年度の一般会計予算案が、3月27日の定例市議会本会議で、一部修正のうえ可決されました。それによると↗総額は8億835万円と、昨年度当初予算を1,724万円上回り、同最終予算よりも1億3,878万円下回っています。以下各項目ごとにおもなものをひろって紹介して行きます。

| 款 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較 | 本年度予算額の財源内訳 特定財源 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1議会費 | 2,020 | 1,720 | 300 | — | — | — | 2,020 |
| 2総務費 | 18,629 | 15,476 | 3,153 | 283 | 5,000 | 495 | 12,851 |
| 3民生費 | 13,100 | 11,391 | 1,709 | 6,288 | — | 2,708 | 4,104 |
| 4衛生費 | 3,830 | 2,913 | 917 | 286 | — | 42 | 3,502 |
| 5労働費 | 46 | 40 | 6 | — | — | — | 46 |
| 6農林水産業費 | 4,652 | 6,704 | △2,052 | 413 | — | 359 | 3,880 |
| 7商工費 | 5,897 | 5,310 | 587 | — | — | 3,368 | 2,529 |
| 8土木費 | 8,052 | 7,501 | 551 | 750 | 1,900 | 356 | 5,046 |
| 9消防費 | 2,951 | 4,221 | △1,270 | — | — | 5 | 2,946 |
| 10教育費 | 12,666 | 16,848 | △4,182 | 867 | 150 | 239 | 11,410 |
| 11災害復旧費 | 1 | 1 | — | — | — | — | 1 |
| 12公債費 | 8,552 | 5,783 | 2,769 | 2,739 | — | 28 | 5,785 |
| 13諸支出金 | 400 | 1,103 | △703 | — | — | — | 400 |
| 14予備費 | 39 | 100 | △61 | — | — | — | 39 |
| 歳出合計 | 80,835 | 79,111 | 1,724 | 11,626 | 7,050 | 7,600 | 54,559 |

(単位万円)




## 歳出

### 三年継続事業で庁舎建設

### 総額八億八百三十五万円

**議会費および総務費　二億六百四十九万円**

議会費の総額は二千二十万円で、そのほとんどは議員報酬と職員給、それに議員の費用弁償などです。また、総務費は一億八千六百二十九万円と、前年度当初よりも三千百五十三万円増額され、総額に対する比率は二三㌫となっています。この総務費は、三役をはじめ企画、総務、市民、税務の各課と、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局などの人件費と、その事務費がおもですが、ことし着工する市庁舎の建設費六千四百六十二万円もここに含まれています。この市庁舎建設はことしから三カ年の継続事業で、二年目には八千二百万円、三年目には一億四千百万円と総額約二億九千万円の予定で昭和四十六年度完成をめざして着手されるものです。

**民生費　一億三千百万円**

前年度当初を千七百九万円上回って計上された民生費は予算総額の一六・二㌫を占めており、おもな内容としては次のものがあげられます。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 敬老会関係賄費 | 六四 |
| 招魂祭委託料 | 七三 |
| 老人ホーム措置委託料 | 一、九八 |
| 社会福祉協議会補助金 | 五四 |
| 老人クラブ補助金 | 五六 |
| 精薄施設負担金 | 四五 |
| 老人ホーム負担金 | 五五 |
| 公認保育所の給食材料費 | 六八一 |
| 未公認保育所の給食材料費 | 二五六 |
| 季節保育所委託料 | 一六〇 |
| 大鷲、大郷両保育園改築費 | 三八 |
| 生活扶助費 | 五、一七八 |
| 母子センター分べん委託料 | 一〇五 |
| 防疫薬剤散布人夫賃 | 五七 |
| 防疫用薬剤購入費 | 一六〇 |
| 防疫用四乗機購入費 | 三四 |
| 衛生処理組合（火葬場）負担金 | 一〇五 |
| 衛生処理組合（ゴミ処理場）負担金 | 一、二五一 |
| 清掃組合（し尿処理場）負担金 | 六六四 |

**公債費八千五百五十一万円**

| | |
|---|---|
| 長期債償還元金 | 五、一〇七 |
| 長期債償還利子 | 三、四三八 |
| 役務費 | 六 |

**土木費　八千五十二万円**

今年度の土木費は八千五十二万円と、前年度の七千五百一万円を五百五十万円上回った額が計上され、次のような事業が予定されています。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 砂利購入費 | 二九四 |
| 防じん剤購入費 | 六五 |
| 市道単独舗装工事 | 一、二一七 |
| ろっ骨道路床、茨曽根線改良工事 | 七三〇 |
| 塩俵地内道路改良工事 | 三三三 |
| 白根、蔵主線公共舗装工事 | 三〇〇 |
| 白根、蔵主線道路改良工事 | 一九〇 |
| 下茨地内道路改良工事 | 一一三 |
| 清水地内道路改良工事 | 八五 |
| 田尾地内道路改良工事 | 五八 |
| 上笠巻単幹線その他四十二カ所分 | 八〇五 |
| 国県道改良工事負担金 | 七〇〇 |
| 被災住宅復興資金預託金 | 八〇 |

**商工費五千八百九十七万円**

商工費の今年度予算は、前年度当初を五百八十六万円上回り、予算総額の七・三㌫を占めています。おもな配分先としては産業育成資金などの貸し付け金に約三千万円、産業厚生会館の建設償還金や各種の補助交付金などに約一千万円となっており、細部については次のとおりです。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 商店診断委託料 | 二五 |
| 商工会助成金 | 一二〇 |
| 小企業振興資金利子補給六三企業奨励費 | 三一六 |
| 産業育成資金貸付金 | 二、〇〇〇 |
| 小企業振興資金 | 七〇〇 |
| 商工中金預託金 | 五〇〇 |
| 厚生会館建設償還交付金―年金福祉事業団分―三一四―北越銀行分― | 一四二 |

**消防費　二千九百五十万円**

消防庁舎の建設を終わったことしの消防費は、前年度より千二百七十万円少なく、予算総額からみた場合三・六㌫の比率を占めています。今年度支出されるおもなものは、新庁舎完成にともなうガス配管工事などの付帯工事費二十三万円と、同じく庁舎完成にともなう備品購入費六十七万円、さらに防火水そう設置などの工事費二十八万円や、可搬式動力ポンプ五台分百四十五万円が計上されています。

**教育費　一億二千六百六十六万円**

教育費の総額は、前年当初よりも四千百八十二万円少ない一億二千六百六十六万円となっていますが、これは昨年度青年教育センターの建設費五千七百万円が計上されていたためです。また学校統合問題もようやく世論として盛り上がってきたものの、まだ具体的に予算措置をするまでにいたりませんでした。それでは教育費内のおもなものをあげてみます。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 児童生徒委託料 | 七〇 |
| 特殊学校就学奨励費補助 | 四五 |
| 大野小学校第二期建設負担金 | 一七四 |
| 市内十二小学校消耗器材費 | 二三九 |
| 同燃料費 | 二六六 |
| 同校具教材等修繕費 | 一四七 |
| 同教材備品等購入費 | 三六一 |
| 同準要保護児童に対する給食費補助 | 一六〇 |
| 松橋小学校児童便所改修費 | 四〇 |
| 市内七中学校燃料費 | 一七三 |
| 同校具教材等修繕費 | 一〇八 |
| 同教材備品等購入費 | 二五七 |
| 同準要保護生徒に対する給食費補助 | 一三九 |
| 図書館一般図書購入費 | 三五 |
| 根岸中プール建設費 | 七一四 |
| 青年教育センター備品購入費 | 二八四 |
| 同暖房設備等施設費 | 四八一 |

**衛生費　三千八百三十万円**

ことしの衛生費は総予算の四・七㌫を占め、前年度当初予算よりも九百十七万円上回っています。この中に含まれているおもなものは次のとおりです。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 低所得者への母子栄養扶助費 | 五一 |
| 結核健康診断役務費 | 九八 |
| 衛生処理組合（伝病）負担金 | 一六二 |

## 根岸中にプール建設

## 畜産共進会を復活

**農林水産業費　四千六百五十一万円**

前年度当初よりも二千五十一万円少なくなっているこの予算は、茨曽根の樹園地整備事業が一段落したことによるもので、おもな使いみちは次のとおりとなっています。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 園芸館高校奨学補助金 | 四二 |
| 災害融資利子補給 | 五七 |
| 農業振興融資利子補給 | 一一一 |
| 農業近代化資金利子補給 | 四三 |
| 総合農業モデル育成推進費 | 四六 |
| 土地基盤整備費 | 二二六 |
| 農業振興融資預託金 | 三五〇 |
| 集団稲作改善実践事業補助金 | 九〇 |
| アメシロ防除薬剤費 | 二六 |
| 土じょう病害防除薬剤費 | 二三 |
| 流通改善対策費 | 三〇 |
| 畜産共進会委託料 | 三〇 |
| 家畜予防注射委託料 | 三四 |
| 地籍調査細部測量委託料 | 一四一 |
| 同面積測定委託料 | 六五 |

## 歳入

### 市税ひとり当たり

### 七千三百四十六円

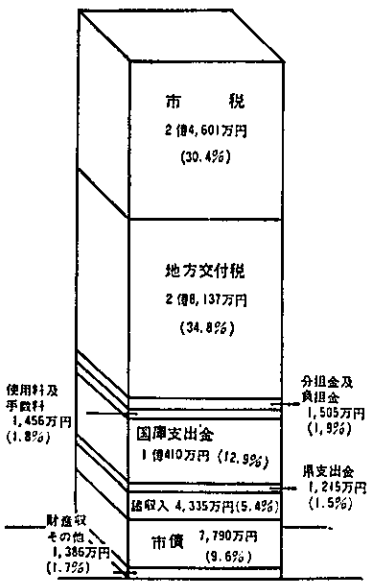
一方支出の裏づけとなる財源、つまり歳入については、地方交付税が全体の三四・八㌫を占める二億八千百三十七万円でトップ、続いては市税の三〇・四㌫＝二億四千六百一万円、さらに国庫支出金一二・九㌫＝一億四百十万円、市債九・六㌫＝七千七百九十万円、諸収入五・四㌫＝四千三百三十五万円、分担金および負担金一・九㌫＝千五百五万円、使用料および手数料一・八㌫＝千四百五十六万円、県支出金一・五㌫＝千二百十五万円などとなっています。

このうち市税の二億四千六百一万円を、四月一日現在の人口三万三千四百八十八人と同じく世帯数六千四百九十八で割ってみると、ひとり当たりでは七千三百四十六円、一世帯当たりでは三万七千八百五十九円となります。

さらにこれを細かく分類してみるとそれぞれ次のような内容から成っています。

（単位万円）

| | |
|---|---|
| 市税 | 九、九四三 |
| 固定資産税 | 八、三〇八 |
| 軽自動車税 | 七三七 |
| 市たばこ消費税 | 三、七六〇 |
| 電気ガス税 | 一、八五〇 |
| 入湯税 | 三 |
| 使用料および手数料 | 一、一五二 |
| 使用料 | 三〇四 |
| 国庫支出金 | |
| 国庫負担金 | 五、九八五 |
| 国庫補助金 | 四、〇九四 |
| 委託金 | 三三一 |
| 県支出金 | |
| 県負担金 | 二〇四 |
| 県補助金 | 六九九 |
| 委託金 | 三一二 |
| 諸収入 | |
| 延滞金加算金および過料 | 五〇 |
| 市預金利子 | 七八五 |
| 貸付金元利収入 | 三、四八〇 |
| 雑入 | |

（単位万円）

| 款 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較 |
|---|---|---|---|
| 1市税 | 24,601 | 21,634 | 2,967 |
| 2自動車取得税交付金 | 600 | — | 600 |
| 3地方交付税 | 28,137 | 22,030 | 6,107 |
| 4交通安全対策特別交付金 | 73 | — | 73 |
| 5分担金及負担金 | 1,505 | 1,444 | 61 |
| 6使用料及手数料 | 1,456 | 1,093 | 363 |
| 7国庫支出金 | 10,410 | 10,521 | △111 |
| 8県支出金 | 1,215 | 3,983 | △2,768 |
| 9財産収入 | 321 | 2,526 | △2,205 |
| 10寄付金 | 130 | 300 | △170 |
| 11繰入金 | 262 | 252 | 10 |
| 12繰越金 | — | — | — |
| 13諸収入 | 4,335 | 3,718 | 617 |
| 14市債 | 7,790 | 11,610 | △3,820 |
| 歳入合計 | 80,835 | 79,111 | 1,724 |